

ずっと住みたい

「いびがわ」の背骨づくり



このたび、住民の皆さんをはじめ、各方面からの暖かいご理解とご支援を賜り、引き続き町政を担当させていただくこととなりました。

皆さんに厚く御礼を申し上げますとともに、その重責をあらためて痛感しているところです。

振り返りますと、合併後、これまでの8年間は、旧の1町5村がひとつになるための「地ならし」に努めてきたところで、現在までに、概ねの基盤はできてきたものと考えています。

今後の4年間は、合併後10年という大きな節目を迎える中で、町内の「結束」「絆」をより深めていくことにより、「町の背骨」を創り上げ、「将来にわたり持続可能なまち」にしていくという、いわゆる「合併の総仕上げ期間」であると考えています。

これからの4年間、決意も新たに、揖斐川町のため、全身全霊を尽くしてこの総仕上げに取り組んでまいりたい所存です。

【平成25年度施策の考え方】

平成25年度は、まさに、総仕上げの第一歩というわけですが、これに加えて、「原発事故や自然災害への備え」「急速な少子高齢化による人口減少・人口流出の抑制」など、喫緊の課題への対応も必要となっております。

将来を見据えた長期的な対策と、喫緊の課題への対応の両方を行っていくにあたり、次の4点を基本方針として掲げました。

1点目は、私の基本姿勢でもある住民協働のもと、「オール揖斐川町体制」でこの地域を守っていくことです。

2点目は、特に若い世代が「この町にずっと住みたい」と感じられるよう、子育て支援をはじめ、まちの魅力を磨き育てることです。

3点目は、地域間・地域内の連携を強化し、相乗効果により、さらなる地域力アップを図ることです。

4点目は、将来を見据え、引き続き行財政改革を進めるといふことです。

平成25年度の具体的な施策については、5つの柱立てのもと実施してまいります。

《あらゆる災害に強い

安全で住みよい地域づくり》

原子力防災対策を推進するとともに、あらゆる災害に対応できるように、備えを充実します。

原子力防災対策としては、県と連携して地域防災計画を見直し、3月23日には、県と共同で原子力防災訓練を実施いたしました。平成25年度も引き続き、県と連携した対策を進めてまいります。

具体的には、安定ヨウ素剤や放射線防護服など必要な備品の購入、原子力防災訓練の実施、見直し後の地域防災計画に関する各地域での説明会など、住民の皆さんの不安を取り除く取り組みを実施してまいります。

あらゆる災害に対応できる備えとしては、災害時の避難・緊急輸送ルートともなる幹線道路、国道417号「鶴見バイパス」や都市計画道路「大野揖斐川線」といった、いわゆる「背骨ルート」の整備促進や、土砂災害ハザードマップの整備、防災無線デジタル化に向けた実施設計、

避難所ともなる公民館の耐震補強など、災害に強い地域づくりを進めてまいります。

《子育て家庭を応援し 移住定住を促進する地域づくり》

地域ぐるみで子育てを応援するとともに、若い世代の人口流出を防止し、移住定住を促進します。

子育て応援としては、現在の中学校卒業までの医療費無料化を18歳到達年度までに拡充するほか、私立幼稚園への就園奨励金の対象年齢を「4歳以上」から「3歳以上」へと引き下げます。また、小中学生が安全に登下校できるよう、通学路に5か所、防犯カメラを設置することとしています。

人口流出防止、移住・定住の促進としては、住宅の新築・改修や賃貸住宅家賃への支援、民間事業者の開発支援など、移住・定住に関するきめ細かな支援を継続するとともに、新たな取り組みとして、結婚後、町内で引き続き3年以上定住することを前提に「新婚世帯定住奨励金」、いわゆる「結婚祝い金」制度を設けるなど、若い世代がずっと住みたいと感じる地域づくりを進めてまいります。

加えて、婚活支援にも力を入れることとしており、婚活の前段として「恋をしよう」という、「恋活(こいかつ)」も含めて応援する相談員、「婚活・恋活コンシェルジュ」を新たに設置し、コミュニケーション講座の開催や、商工会青年部が行う婚活イベントとの連携・フォローアップなど、独身男女をサポートしてまいります。

ます。

《福祉・医療の充実した あたたかい地域づくり》

福祉・医療のさらなる充実を図るとともに、生活交通の確保など、人によさしい地域づくりを進めます。

福祉の充実としては、地域福祉の基本方針となる地域福祉計画について、平成26年度の改定に向けた取り組みを進めるとともに、介護サービス利用者と提供者の間立って問題解決を手助けする「介護相談員」の派遣や、老人福祉施設の車椅子入浴装置更新などを行います。

医療の充実として、乳幼児等定期予防接種の実施や、任意予防接種・各種検診への助成を行うほか、揖斐厚生病院への高度医療機器の導入支援を行ってまいります。

人によさしい地域づくりとしては、生活交通確保のため、コミュニティバスの運行をはじめ、沿線市町と協調して養老鉄道・樽見鉄道への支援を継続するなど、町内の公共交通ネットワークの維持に努めてまいります。

また、男女共同参画社会づくりを進めるため、基本計画を策定するとともに、気運醸成のための講演会開催などを行ってまいります。

《地域産業が元気で 環境にやさしい地域づくり》

商業、工業、農業、林業など、地域産業の活性化を支援するとともに、環境にやさしい取り組みを行います。

地域産業の活性化として、まずは

積極的な企業誘致を行ってまいります。新聞報道もなされておりますが、300人規模の雇用を創出するアピ株式会社揖斐川工場の第3工場新設を促進するほか、首都圏・関西圏でのトップセールスを実施してまいります。

また、商工会が行うプレミアム付商品券の発行支援、中小企業融資資金借入れに伴う利子補給、勤労者への貸し付け支援なども継続して実施してまいります。

このほか、特産品開発による地域振興について調査研究を行うとともに、山林の公益的機能保持のため、これまでの切り捨て間伐に加え、利用間伐についても支援を充実してまいります。

環境にやさしい取り組みとしては、住宅用太陽光発電システムの設置や木質ペレットストーブ購入への支援を継続するほか、汚水処理の推進、ごみの減量化促進などを実施してまいります。

《地域文化を醸成し 人々が集う地域づくり》

教育の振興、地域文化の醸成、にぎわい創出と観光交流を促進します。

教育については、学習環境の充実として、谷汲小学校のプール建設、北和中学校のグラウンド整備といった施設整備に加えて、小中学生のメ

ンタルヘルスとして配置するスクール相談員のほか、少人数学級指導助手、特別支援学級支援員の配置を継続・増員してまいります。さらには、小中学生の豊かな人間性を育むための、海外派遣や県外交流派遣も、引

き続き実施してまいります。

地域文化の醸成については、町民の皆さんが参加する文化団体への支援を継続してまいります。また、住民役の地域づくりを進めるため、私自身が直接、住民の皆さんとお話させていただき、「まちづくり住民会議」を出来る限り開催しまして、住民の皆さんに、「役場が身近になった」と感じていただけるよう、努力してまいります。

にぎわい創出と観光交流の促進としては、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の成果を活かし、カヌーのスラローム・ワイルドウォーターのジャパンカップと、女子ソフトボールの東アジアカップが、7月に揖斐川町で開催される予定となっております。いびがわマラソンと併せ、スポーツによるまちの振興につなげたいと考えています。

また、徳山ダムを周遊する水陸両用バスの実証実験など、町内観光資源のブラッシュアップを図るとともに、西美濃夢源回廊協議会やNEXCO中日本と連携した広域観光バスツアーの企画、さらには、田舎暮らし体験による交流居住の促進など、交流人口の増加に努めてまいります。

本年度も、町民の皆さんとの協働により『ずっと住みたい町「いびがわ」の実現に向けて、まちづくりを進めてまいります。

住民の皆さんには、一層のご理解、ご支援、ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

平成25年度 揖斐川町重点施策 ～ずっと住みたい「いびがわ」の背骨づくり～

※主な事業を列挙。◎＝新規、●＝拡充、○＝継続

I. あらゆる災害に強い安全で住みよい地域づくり 【1,022 百万円】

(1) 原子力防災対策の推進 【2 百万円】

◎原子力災害対策備品の整備 【1,787 千円】

- ・近隣地域での万一の原子力災害に備え、安定ヨウ素剤（2万4千人分）、放射線防護服（6地区×2名×2交代×1週間分）、被ばく線量計（6地区×2名分）を整備

◎原子力防災訓練の実施 【267 千円】

- ・住民参加による避難訓練、モニタリング訓練、ヨウ素剤搬送訓練など、県と連携した原子力防災訓練を実施

◎原子力災害に関する出前説明会の実施 【ゼロ予算】

- ・原子力災害時の対応などについて、見直し後の地域防災計画をもとに、町職員が町内各地区で説明を実施
- ・県が平成25年度中に町内の小中学校等に配備する放射線測定機器を活用し、放射線基礎講座を実施



(2) 安心・安全で住みよい地域づくり 【1,020 百万円】

◎暮らしやすい中心市街地形成への誘導 【5,507 千円】

- ・まちの中心部において、土地利用計画の基礎となる用途地域指定を推進

●災害時の避難・緊急輸送ルートともなる幹線道路・生活道路の整備 【443,064 千円】

- ・国道417号「鶴見バイパス」、都市計画道路「大野揖斐川線」等、県による幹線道路の整備を促進
- ・生活に密着した重要橋梁の耐震対策等の推進（春日：別所橋、久瀬：小川橋、坂内：上白川橋等）



●土砂災害に対する備え 【2,900 千円】

- ・完成済みの「藤橋」「坂内」地区に加え、「揖斐」「谷汲」「春日」「久瀬」地区の土地災害ハザードマップを整備し、住民協働で避難方法等を協議

●防災無線のデジタル化の推進 【26,586 千円】

- ・「同報系」「移動系」のデジタル防災無線の整備に向けた実施設計を委託

◎公民館の耐震補強 【44,569 千円】

- ・地域の避難所でもある胫永公民館の耐震補強工事を実施

○自助・共助・公助の充実 【76,549 千円】

- ・消防力の充実強化（北方消防車庫新築、北新町防火水槽設置、名礼分団消防ポンプ自動車購入）
- ・社会福祉協議会と連携した、防災リーダーや地域の自主防災組織を育成

II. 子育て家庭を応援し移住定住を促進する地域づくり 【536 百万円】

(1) 地域ぐるみで子育て応援 【505 百万円】

●高校生までの医療費無料化 【73,200 千円】

- ・子育て支援の一環で実施している中学校卒業までの医療費無料化について、18歳到達年度末までの無料化に拡充

●私立幼稚園への就園奨励金の対象引き下げ 【10,303 千円】

- ・「4歳以上」を対象としていた私立幼稚園への就園奨励金（入園料、保育料の軽減）について、「3歳以上」に引き下げ

◎通学路における防犯カメラ整備 【7,350 千円】

- ・小中学生の登下校時の安全を確保するため、通学路に防犯カメラを整備（5か所）

◎ふれあい児童公園の整備検討 【1,000 千円】

- ・子どもたちが楽しく安心して遊べるよう、様々な遊具を備えた児童公園の整備を検討

◎「すこやかベビー祝い金」を支給 【6,500 千円】

- ・出産日以前に6か月以上住所登録があり、出産後引き続き1年以上居住すると見込まれる方を対象に、出産祝い金5万円（出産子1人あたり）を支給

◎不妊治療への助成 【800 千円】

- ・町内に住所を有する法律上の夫婦に対し、体外受精・顕微授精による不妊治療を行った場合、年間10万円を上限に助成（通算5年間）



(2) 人口流出防止と移住・定住の促進 【31 百万円】

◎「婚活・恋活コンシェルジュ」の設置 【574 千円】

- ・婚活支援として、結婚・恋愛を応援する相談員を配置し、商工会と連携して婚活・恋活イベントを開催

◎新婚世帯定住奨励金（結婚祝い金）の支給 【1,500 千円】

- ・結婚後（町外からの移住者の場合は、婚姻届提出後1年以内）、町内で引き続き3年以上定住すると見込まれる新婚世帯を対象に、5万円を支給 ※夫婦とも満50歳未満であること

◎人口流出防止と移住・定住促進のためのきめ細かな支援 【15,750 千円】

- ・【新築住宅への支援】 新築住宅建設等奨励金（基本額10万円）、新築住宅に対する固定資産税の減免
- ・【住宅改修への支援】 住宅改修等奨励金（基本上限額5万円）、住宅耐震診断無料実施、田舎暮らし住宅活用奨励金（改修：基本上限額10万円）
- ・【賃貸住宅への支援】 賃貸住宅家賃助成奨励金（基本上限額：月額1万円、1年間）
- ・【事業者への支援】 民間賃貸集合住宅建設奨励金（基本額：1戸あたり10万円）、分譲戸建住宅建設奨励金（基本額：1棟あたり30万円）、分譲宅地開発支援奨励金（基本額：1区画あたり10万円）

Ⅲ. 福祉・医療の充実したあたたかい地域づくり 【1,864 百万円】

(1) 福祉・医療の充実 【1,536 百万円】

◎地域福祉計画の見直し 【1,691 千円】

- ・平成26年度の計画改定に向け、住民意識調査、地域福祉懇談会を実施し、地域福祉を展開していく上での課題を整理

◎地域包括ケアシステムの充実 【29,489 千円】

- ・医師や薬剤師にも参加いただく毎月の地域ケア会議での議論をもとに、高齢者のニーズに応じて「介護」「予防」「医療」「見守り等の生活支援」「住まい」といった各種サービスを適切に組み合わせて提供

◎介護相談員の派遣 【192 千円】

- ・介護相談員を養成・派遣し、介護サービス利用者と提供者との間に立って、問題解決を手助け

◎車椅子入浴装置の整備 【9,030 千円】

- ・老人保健施設「山びこの郷」の車椅子入浴装置を更新

◎町民の各種検診・予防接種の推進 【76,512 千円】

- ・乳幼児等定期予防接種（BCG、3種混合、4種混合、麻疹・風疹、インフルエンザ、子宮頸がん、ピフワクチン、小児肺炎球菌、日本脳炎）の実施
- ・任意予防接種（水痘、おたふく風邪、高齢者肺炎球菌）への助成
- ・各種検診（結核検診、ヤング〔19～39歳〕検診、胃・大腸・前立腺がん検診、肺がん検診、子宮・乳房がん検診、肝炎ウイルス検診）への助成

○**揖斐厚生病院の高度医療機器導入を支援** 【15,000 千円】

- ・揖斐厚生病院の高度医療機器導入（腹腔・胸腔用ハイビジョンシステム、超音波診断システム、セントラルモニター）に対する助成



(2) **人にやさしい地域づくり** 【328 百万円】

●**男女共同参画社会づくりに向けた気運の醸成** 【821 千円】

- ・揖斐川町男女共同参画基本計画を策定するとともに、多様性に富んだ活力ある地域の実現を目指して、町民を対象とした講演会を開催

○**地域の生活交通の確保** 【205,576 千円】

- ・沿線市町と協調した養老鉄道および樽見鉄道への支援と揖斐川町コミュニティバスの運行により、公共交通ネットワークを確保
- ・「揖斐川町公共交通を守る会」と連携した持続可能な生活交通についての検討



IV. 地域産業が元気で環境にやさしい地域づくり 【1,784 百万円】

(1) **地域産業の活性化** 【296 百万円】

●**東海環状自動車西回りルート開通を見据えた、積極的な企業誘致活動の実施** 【ゼロ予算】

- ・300人規模の雇用を創出するアピ(株)揖斐川工場の第三工場新設促進のほか、首都圏・関西圏におけるトップセールスの実施

○**春日地域における特産品開発研究** 【2,455 千円】

- ・県森林文化アカデミー准教授と連携し、春日地域での新たな特産品開発による地域振興について調査・研究

●**利用間伐の促進** 【12,447 千円】

- ・山林の公益的機能保持のため、切り捨て間伐に加えて利用間伐についても支援を充実



○**林業残材の搬出促進** 【3,000 千円】

- ・間伐材を木質燃料加工場へ搬出した場合、商工会加盟店で利用できる地域通貨券（1tあたり6千円相当）を交付する事業を行う、いび森林資源活用センターへ助成

○**地元商店、中小企業、勤労者への支援** 【13,677 千円】

- ・地元商店での購買促進のため、商工会が行うプレミアム付き商品券の発行等を支援
- ・地元中小企業に対し、中小企業融資資金（運転・設備）借りに伴う利子を補給
- ・東海労働金庫と連携した勤労者への貸し付け（融資枠：40,000 千円）



●**有害鳥獣の捕獲・被害防止** 【50,313 千円】

- ・有害鳥獣防護柵・電気柵などの設置に対する助成を行うほか、ニホンジカの個体数調整を実施

(2) **自然環境にやさしい地域づくり** 【1,488 百万円】

○**一般家庭への再生可能エネルギーの普及促進** 【6,800 千円】

- ・住宅用太陽光発電システムの設置について、国の補助とあわせた助成を実施（町補助：1kwあたり3万円、上限4kwまで）
- ・木質ペレットストーブ購入に対する助成を実施（補助率2分の1、上限20万円）

○**水源地域ビジョンを踏まえた揖斐川の上中下流域交流促進** 【9,000 千円】

- ・「生命の水と森の活用センター」を中心に、下流域の住民に水源地域の大切さや魅力を知ってもらう、体験型イベント等を開催

●汚水処理の推進 【1,466,111千円】

- ・小島地区の農業集落排水事業、揖斐地区の公共下水道事業の推進、集合処理地域以外での合併処理浄化槽の整備促進

○ごみの減量化対策 【3,264千円】

- ・資源ゴミ集団回収へ助成（3円/kg）を行うとともに、生ごみ処理機・コンポスト容器の購入を支援（補助率2分の1、上限5万円）

V. 地域文化を醸成し人々が集う地域づくり 【658百万円】

(1) 教育の振興と充実 【340百万円】

○学習環境の充実 【295,655千円】

- ・谷汲小学校プール建設、大和小学校体育館屋根修繕、揖斐川中学校南舎外壁改修、北和中学校グラウンド整備ほか
- ・スクール相談員の設置、少人数学級指導助手の設置、特別支援学級支援員の設置

○小中学生の海外・県外交流派遣による豊かな人間性づくり 【10,090千円】

- ・中学生はアメリカ・セントジョージ市と、小学生は北海道芽室町、高知県宿毛市との相互交流を実施することにより、豊かな人間性を育む

○生徒自身による、人権を大切にしたい理想の学校づくり 【ゼロ予算】

- ・いじめの根絶等、理想の学校づくりのため、中学生教育委員会で決められた「仲間の良いところを見つけよう」・「思いやりのある言動をしよう」を全小中学校の児童生徒自身で実践

(2) 地域文化の醸成と住民主役の地域づくり 【46百万円】

○地域の文化活動の促進 【15,899千円】

- ・町民が参加する芸術、文化等の活動団体へ助成をし、地域文化の醸成・継承を促進

◎「地域車座懇談会」の開催 【ゼロ予算】

- ・町の中堅・若手職員が、地域や各種団体の会合に伺い、地域の生活・文化を踏まえ今後のまちづくりについて意見交換する、「地域車座懇談会」を実施

(3) にぎわいの創出と観光交流の促進 【272百万円】

●スポーツ振興によるまちのにぎわい創出 【28,493千円】

- ・2013いびがわマラソンを開催し、全国から集う1万人超のランナー・応援者を町民一丸でおもてなし
- ・ぎぶ清流国体・大会の成果を活かし、カヌー（ワイルドウォーター、スラローム）ジャパンカップと、東アジアカップ女子ソフトボール大会等を開催

◎徳山ダムを周遊する水陸両用バスの運行 【4,368千円】

- ・徳山バスを周遊する水陸両用バスの実証実験（名古屋駅～徳山ダム往復ツアー：年5回）を行い観光資源としての魅力アップを図る

○観光資源のブラッシュアップと「西美濃夢源回廊」等を活用した誘客促進 【47,511千円】

- ・「西美濃夢源回廊協議会」やNEXCO中日本などと連携した広域観光バスツアーの実施など、町内観光資源のブラッシュアップ・情報発信により、誘客を促進

○田舎暮らし体験等による交流居住のススメ 【2,415千円】

- ・久瀬、藤橋、坂内の農山村地域において田舎暮らし体験事業を実施、参加者に地域への愛着を深めてもらい、交流居住につなげる



平成 25 年度 揖斐川町各会計当初予算

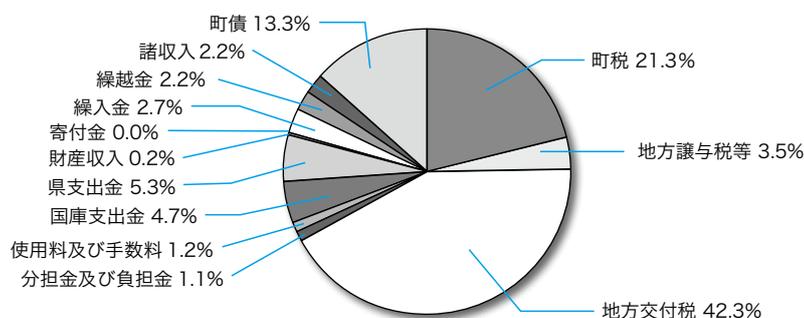
(単位：千円)

会 計 名	平成25年度(A)	平成24年度(B)	比較(A)-(B)	増減率(%)
揖斐川町一般会計	13,480,000	14,275,000	△ 795,000	△ 5.6
揖斐川町国民健康保険特別会計	2,673,500	2,624,000	49,500	1.9
揖斐川町国民健康保険直診勘定特別会計	112,500	111,100	1,400	1.3
揖斐川町谷汲中央診療所特別会計	71,500	72,800	△ 1,300	△ 1.8
揖斐川町大和簡易水道特別会計	28,600	43,000	△ 14,400	△ 33.5
揖斐川町脛永簡易水道特別会計	16,300	17,100	△ 800	△ 4.7
揖斐川町市場簡易水道特別会計	7,200	7,600	△ 400	△ 5.3
揖斐川町谷汲簡易水道特別会計	78,100	84,800	△ 6,700	△ 7.9
揖斐川町北部簡易水道特別会計	136,900	163,200	△ 26,300	△ 16.1
揖斐川町北方財産区特別会計	25,300	12,100	13,200	109.1
揖斐川町大和財産区特別会計	8,300	8,300	0	0.0
揖斐川町谷汲財産区特別会計	19,500	13,300	6,200	46.6
揖斐川町長瀬財産区特別会計	1,100	1,100	0	0.0
揖斐川町横蔵財産区特別会計	5,900	6,600	△ 700	△ 10.6
揖斐川町農業集落排水事業特別会計	1,264,000	1,216,900	47,100	3.9
揖斐川町公共下水道事業特別会計	931,500	154,100	777,400	504.5
揖斐川町杉原地域土地取得等特別会計	4,700	19,500	△ 14,800	△ 75.9
揖斐川町個別排水事業特別会計	137,800	146,100	△ 8,300	△ 5.7
揖斐川町徳山ダム上流域公有地化特別会計	514,700	517,700	△ 3,000	△ 0.6
揖斐川町後期高齢者医療特別会計	300,400	298,700	1,700	0.6
揖斐川町地域情報特別会計	232,800	253,200	△ 20,400	△ 8.1
特別会計 合計	6,570,600	5,771,200	799,400	13.9
揖斐川町上水道事業会計	646,517	284,809	361,708	127.0
総合計	20,697,117	20,331,009	366,108	1.8

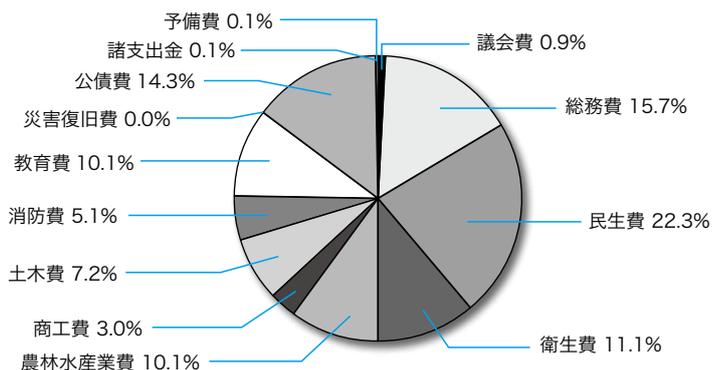
平成 25 年度 揖斐川町一般会計当初予算

【予算総額 13,480百万円】

歳入構成【予算総額 13,480百万円】



目的別歳出構成【予算総額 13,480百万円】



【歳入】

(単位：千円)

区 分	平成25年度当初
町税	2,870,282
地方譲与税等	462,700
地方交付税	5,700,000
分担金及び負担金	142,479
使用料及び手数料	165,757
国庫支出金	635,996
県支出金	710,020
財産収入	33,493
寄付金	4,003
繰入金	369,066
繰越金	300,000
諸収入	291,504
町債	1,794,700
合 計	13,480,000

【目的別歳出】

(単位：千円)

区 分	平成25年度当初
議会費	120,988
総務費	2,120,541
民生費	3,003,233
衛生費	1,489,620
農林水産業費	1,359,628
商工費	409,115
土木費	965,875
消防費	691,641
教育費	1,363,478
災害復旧費	50
公債費	1,923,951
諸支出金	11,880
予備費	20,000
合 計	13,480,000